

# 事務事業評価シート(平成23年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
31511	除害施設・特定施設に関する事務	建設水道課	水処理センター係	一ノ瀬 保弘	唐沢 武志
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2166
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分	予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	5701	水処理センター管理事務		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	5731	水処理センター管理事務		
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章 (コード選択)	3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり	
		節 (コード選択)	1節	地域基盤整備	
		項[基本施策] (コード選択)	5項	下水道事業の推進	
		目[主な施策] (コード選択)	1目	住環境・河川環境の向上	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	下水道法
事務期間	(開始) 3 年度 ~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし	

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

下水道への排水基準に合うように排水を処理する施設(除害施設)の設置が必要な事業所及び水質汚濁防止法に定められた特定事業所

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

①特定事業所、除害施設設置事業所からの排水を下水道法に定める排水基準以下で下水道に流せるようにする。  
②天竜川や小野川などの水質悪化原因とならないようにする。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	工場が下水道へ接続する際に、特定事業所であるか、除害施設の必要な事業所かどうかを判断し審査や必要な場合は除害施設設置の指導をする。
2	事業所排水の水質検査を実施し、排水基準に合った排水を下水道に流すように監視・指導する。
3	
4	

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	除害施設設置事業所・特定事業所の数	件	187	195	197	0.99	197
	説明	除害施設設置の確認申請又は特定施設設置届出をした事業所数(累積)	目標値設定の根拠	H20からH22迄の年間の下水道への接続実績から予測				
②	指標名	立ち入り検査・水質検査数	回	56	53	53	1.00	53
	説明	立ち入り検査又は水質検査を行った事業所の回数	目標値設定の根拠	(重金属類などを使用する可能性のある事業所数×項目数)+立ち入り検査数(水質検査の無い場合のみ)				

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	下水道への排水基準値内である割合	%	100	100	100	1.00	100
	説明	基準値内の検査項目数÷全検査項目数(検査項目数×事業所数)	目標値設定の根拠	法令に定められた排水基準値以内であること				
②	指標名					#DIV/0!		0
	説明		目標値設定の根拠					

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成22年度 決 算	平成23年度 決 算	平成24年度 見 込
			363	326	322
対前年比		%		90	98.6
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			363	326	322
B)一般財源(税金)			0	0	0
①事業費		(千円)	196	196	193
対前年比		%		100	98.5
②人件費の概算		(千円)	167	130	129
対前年比		%		78.2	98.8
			年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員(正規職員)			167	130	129
臨時職員			0	0	0

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	C	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。)  を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

施設台帳を確認しながら、検査対象の事業所を決定している。今年度1件が倒産し検査数が減った。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

処理場で処理できない重金属などを排出する恐れのある事業所を対象に、年1回以上の水質検査と立ち入り検査を実施する。

24年度予算見積書への反映  あり  なし

[反映内容]

水質検査委託料

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

下水道終末処理場の放流水排水基準を守るために必要な事業。継続して、立ち入り検査及び排水水質検査を年1回実施する。

上位の施策の推進に貢献していますか。  をチェック

- A. 貢献度 大      D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性  を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

➡  上記 a~e を選択